

日本建築学会論文集応募原稿募集（電子投稿）

●J-STAGEジャーナルトップページ

構造系 [\(巻号一覧\)](#) 計画系 [\(巻号一覧\)](#) 環境系 [\(巻号一覧\)](#) [【アーカイブ】](#)



<重要なお知らせ> ※必ずご確認ください

◎ [日本建築学会論文集の完全電子化（2021年度からの冊子廃止）等に伴う規程類、登載料等の変更について](#)

◎ [日本建築学会論文集2020年7月10日までの投稿について](#)

●締切日時について：毎月 10 日 24 時締切

●著者の資格：本会会員（個人） ※著者全員が会員（個人）である必要があります。

・新入会の会費支払い方法については、(1)口座振替または(2)請求書払いのいずれかとなります。投稿を予定されている方は本会から届いた会員番号通知メールを PDF などの画像ファイルとして原稿と一緒に Web 画面上で提出いただければ、ご投稿いただけます。詳細は[こちら](#)のご案内をご覧ください。あらかじめ余裕をもって入会手続きをしてください。

・投稿時点のみならず掲載時点でも主・共著者全員が会員（個人）の資格を有する必要があります。万一、掲載時点で会費納入がなされていないなどにより会員の資格を喪失された場合には、掲載はできません。

●電子投稿はこちら⇒ <http://mc.manuscriptcentral.com/aij>

各種マニュアル：

➢ [投稿マニュアル](#)(PDF) ※投稿前に次の情報をテキスト、ワードにてご用意ください。原稿のタイトル、和文要旨(400字以内)、英文要旨(550ワード以内)、キーワードなどの書誌情報、全著者の氏名(会員番号)、所属情報など。

➢ [アカウント作成マニュアル](#)(PDF)、[アカウント変更マニュアル](#)(PDF)、[パスワード再設定マニュアル](#)(PDF)

※[Step3に追加情報（EU一般データ保護規則にともなうプライバシーポリシーへの同意）](#)をご登録ください。

→2018年5月25日よりGDPR（EU一般データ保護規則）が施行され、ScholarOne Manuscripts（投稿審査システム）でもGDPRへ対応させるため、システム利用に際して、プライバシーポリシーへの同意を得るためのチェック画面が追加されました。2018年5月25日以降、初めてログインされる際は、以下のPDFをご参考にご対応をお願い申し上げます。（一度チェックを行えば、それ以降は表示されません。）⇒[確認画面について（PDF）](#)

【注】投稿にはPDF原稿（ファイルサイズは8MB程度まで）が必要です。

【注】原稿を投稿する場合はアカウントが必要です。運営上支障をきたしますのでお一人に二つ以上作成しないでください。

【注】投稿後の初回原稿・最終（修正）原稿の差し替えや変更はできません。十分に推敲のうえ投稿してください。

【注】一旦投稿した原稿をカラーから白黒（白黒からカラー）へ変更することは不可です。

[論文・作品の発表の場におけるピアレビューに関する倫理規程](#)（PDF）

➢ [応募規程](#)(PDF)、[執筆要領](#)(PDF)、[版下原稿執筆の手引き](#)（PDF）

➢ [論文集の訂正、取り下げに関する運用要領](#)(PDF)

➢ [部門・細分類表](#)、[原稿提出時のチェック票](#)（PDF）、[PDF作成ガイド](#)（PDF）、

➢ [料金表](#) ※掲載料は刊行を以てご請求いたします。別刷*は刊行月17日までに届くようにお送りいたします。*2021年3月号まで

各種テンプレート：和文論文⇒[左記の説明](#)、英文論文、[回答書](#)⇒[左記の見本](#)、[訂正記事](#)、[質疑討論](#)、[質疑討論への回答](#)

各種申請書：[訂正申請](#)、[取り下げ申請](#)、[著者変更申請](#)

●掲載希望系：論文集は下記のように構造系、計画系、環境系の3分冊を刊行しています。

・日本建築学会構造系論文集 掲載部門：「材料施工」「構造」

・日本建築学会計画系論文集 掲載部門：「建築計画」「都市計画」「農村計画」「建築社会システム」「建築歴史・意匠」

・日本建築学会環境系論文集 掲載部門：「環境工学」、領域横断的部門：「防火」「海洋建築」「情報システム技術」「教育」「災害」「地球環境」

※領域横断的部門は、原則として環境系論文集に掲載されますが、著者の申告があった場合には、論文集委員会の判断により他系に掲載できます。投稿審査システムの投稿画面 Step2 内〔系列：カテゴリー〕の選択を申告としています。

<重要確認項目>

・1行あたり30文字で1頁は50行2段組（英文は1段組）、本文の文字の大きさは8ポイントです。

・論文のタイトルは原則主題のみですが、必要に応じ総主題、副題を添えることができます。その1、その2等は総主題に付け、総主題と主題の間には必ず「：」を付けてください。詳細は執筆要領・手引き・テンプレートの説明をご確認ください。

・未発表論文等は、本会発行の「日本建築学会論文集」「日本建築学会技術報告集」「JAABE」「JAR」「大会学術講演会研究発表梗概」「支部研究報告」以外は参考文献として扱うことはできません。必要とあれば注としてください。

・最大頁数を越えることはいっさい認められません。新規投稿では予め修正の際に加筆できる十分なスペースをお残しください。